

9th International Conference on Biophysical Technology (ICoBTD) 2025, Makassar, 2025/2/21

- 8) Marito P, Murakami K, Werdiningsih M, Kusdhany L, Indrasari M, Ono T, Hori K: Improvement of Food Comminution at Swallowing Threshold after Prosthodontic Treatment. 4th winner of original research category, The 13th International Scientific Meeting in Dentistry/ The 9th International Conference on Biophysical Technology (ICoBTD) 2025, Makassar, 2025/2/21

【その他】

- 1) 村上和裕: 昭和大学学士会講演セミナー 2024年5月23日
- 2) 堀 一浩: 兵庫県歯科医師会 2024年7月21日
- 3) 大川純平: MATLAB って知ってる? -MATLAB を活用した研究事例 最前線-, MATLAB ユーザー交流会 (新潟大学. 2024年12月9日)
- 4) 大川純平: 第13回顎口腔機能セミナー, MATLAB から始めるプログラミング. 2024年9月20日
- 5) 長谷川陽子: お口から始めるフレイル予防 ~健康長寿への第一歩~. 2024年丹波篠山市 兵庫医科大学市民公開講座. 2025年3月20日

組織再建口腔外科学分野

【著 書】

- 1) 小林正治: 第8章顎関節 IV 臨床的考察. 口腔組織・発生学第3版(編集: 前田健康、網塚憲生、中村浩彰), 182-184, 医歯薬出版, 東京, 2024年1月10日.
- 2) 小林正治: 第6章炎症. 標準口腔外科学第5版(監修: 内山健志、近藤壽朗, 編集: 片倉朗・中嶋正博・里見貴史), 192-216, 医学書院, 東京, 2024年03月31日.

【論文】国際→国内 旧→新

- 1) Naito E, Igawa K, Takada S, Haga K, Yortchan W, Suebsamarn O, Kobayashi R, Yamazaki M, Tanuma J, Hamano T, Shimokawa T, Tomihara K, Izumi K: The effects of carbon-ion beam irradiation on three-dimensional in vitro models of normal oral mucosa and oral cancer: development of a novel tool to evaluate cancer therapy. *In Vitro Cellular & Developmental Biology – Animal*. 60, 10, 1184-1199, 2024.
- 2) Zheng Z, Hasebe D, Suda D, Saito N, Saito D, Nihara J,

Nohno K, Saito I, Kobayashi T. Investigation of orthognathic surgery indicators-combination with index of orthognathic functional treatment needs (IOFTN) and maxillofacial morphometric analysis. *Oral Maxillofac Surg*. 28(3):1189-1196, 2024.

- 3) Aizawa Y, Haga K, Yoshiba N, Yortchan W, Takada S, Tanaka R, Naito E, Abé T, Maruyama S, Yamazaki M, Tanuma J, Igawa K, Tomihara K, Togo S, Izumi K: Development and Characterization of a Three-Dimensional Organotypic In Vitro Oral Cancer Model with Four Co-Cultured Cell Types, Including Patient-Derived Cancer-Associated Fibroblasts. *Biomedicine* 12, 2373, 2024.
- 4) Haga K: Construction of oral cancer microenvironment model using 3D culture technology and search for new therapeutic targets. *Impact* 2, 20-21, 2024.
- 5) Zheng Z, Takeuchi R, Suda D, Saito D, Hasebe D, Kobayashi T. Dentoalveolar distraction osteogenesis combined with surgical orthodontic treatment for a patient with jaw deformity and ankylosed maxillary canine – A case report. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol*, 37(1): 130-134, 2025.
- 6) Maung MM, Hasebe D, Kasahara M, Zheng Z, Takeuchi R, Sakuma H, Saito D, Kobayashi T. Stability after maxillary setback by horseshoe Le Fort I osteotomy in skeletal class II cases. *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology*, 37(1): 36-41, 2025.
- 7) Zheng Z, Saito D, Hasebe D, Funayama A, Nihara J, Kobayashi T. Three-dimensional evaluation of maxillofacial symmetry improvement following orthognathic surgery in patients with asymmetrical jaw deformities. *Oral Maxillofac Surg*. 29(1): 8, 2024.
- 8) Nozawa-Kobayashi M, Sakuma H, Kanemaru H, Kurokawa A, Soga M, Yamashita M, Niimi K, Kobayashi T: Survey of the association between tooth extraction and development of medication-related osteonecrosis of the jaw in patients undergoing cancer treatment with bone-modifying agents. *Oral maxillofacial surg*. 29(8), 2024.
- 9) Hayakawa R, Hasebe D, Kasahara M, Haga K, Asami E, Takeuchi R, Saito N, Saito D, Sakuma H, Kobayashi T. Satisfaction questionnaire survey after surgical orthodontic treatment in patients with jaw deformities. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol*. 37(3):420-426, 2025.
- 10) Kasahara M, Hasebe D, Suda D, Sakuma H, Saito N, Saito D, Nihara J, Kobayashi T. Stability of the maxilla and mandible in patients with dentofacial deformities after multi-segmental Le Fort I osteotomy combined

with sagittal split ramus osteotomy. J Oral Maxillofac Surg Med Pathol. 37(3):475-479, 2025.

- 11) 齋藤大輔, 須田大亮, 竹内涼子, 原 太一, 長谷部大地, 小林正治: 著明な下顎隆起が発症一因と考えられた重症閉塞性睡眠時無呼吸症の1例. 睡眠口腔医学 11(1):19-23, 2024.
- 12) 須田大亮, 船山昭典, 新美奏恵, 佐久間英伸, 齋藤大輔, 林 孝文, 丸山 智, 田沼順一, 小林正治: 下顎歯肉への転移を契機に診断に至った腭癌の1例. 日本口腔腫瘍学会誌 36 卷(4 号): 89-95, 2024.
- 13) 加納浩之, 加藤祐介, 小林正治, 丸山 智. メトトレキサート関連リンパ増殖性疾患により顎骨壊死をきたした関節リウマチ患者の1例. 新潟歯学会誌 54(2):15-21, 2024.

【商業誌】

- 1) 羽賀健太: 3次元培養モデルにおけるがん関連線維芽細胞の機能解析. Precision Medicine 7, 3, 76-78 2024.
- 2) 小林正治. 気道に配慮した外科的矯正治療. ザ・クインテッセンス別冊臨床科のための矯正 YEAR BOOK2024, 122-125, 2024.

【科研費獲得】

- 1) 葭原明弘, 杉田典子, 宮本 茜, 諏訪間加奈, 新美奏恵: 口腔および口蓋扁桃マイクロバイオームが慢性腎臓病に及ぼす包括的メカニズムの解明. 科学研究費助成事業「基金」 基盤研究 (C) , 22K10337, 2024.
- 2) 新美奏恵, 葭原明弘, 隅田好美: がん薬物療法を受ける患者の口腔環境, 口腔細菌叢と QOL の関連性の解明. 科学研究費助成事業「基金」 基盤研究 (C) , 23K09455, 2024.
- 3) 新美奏恵, 猪又孝元: 新潟市における病床機能、役割分担の解明と医療提供体制の検討. 令和6年度新潟市医師会地域医療研究助成, GC04520241, 2024.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Haga K, Funayama A, Saito N, Hasebe D, Saito D, Sakuma H, Suda D, Takeuchi R, Hayashi T, Tanuma J, Kobayashi T: Computer-assisted surgery in mandibular reconstruction and a patient-specific mandibular reconstruction plate. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Bangkok, June 1, 2024, Program book P1-12, p90, 2024.
- 2) Ryoko TAKEUCHI: Impact of velopharyngeal function and skeletal stability after orthognathic surgery in cleft

palate patients. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Bangkok, 2024.5.31. Program p.41, 2024.

- 3) 齋藤大輔: 三次元シミュレーションと超音波骨切削機器を用いた顎矯正手術 (ビデオレクチャー). 第69回日本口腔外科学会総会・学術大会, 横浜, 2024年11月22日~2025年1月31日

【学会発表】

- 1) 船山昭典, 三上俊彦, 羽賀健太, 新美奏恵, 齋藤大輔, 須田大亮, 竹内涼子, 佐久間英伸, 小林正治: 75歳以上の後期高齢者口腔扁平上皮癌の臨床的検討. 第42回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会. 札幌, 2024年1月25, 26日.
- 2) 佐久間英伸, 金丸博子, 黒川亮, 曾我麻里恵, 山下萌, 新美奏恵, 小林正治: グルココルチコイド誘発性骨粗鬆症に対する骨修飾薬投与後の薬剤関連顎骨壊死の発症状況. 第33回日本有病者歯科医療学会 総会・学術大会, 新潟, 2024年3月8日-10日, 同学術集会プログラム, 2024
- 3) 黒川亮, 金丸博子, 曾我麻里恵, 山下萌, 新美奏, 田中恵子, 石山茉佑佳, 富原圭, 佐久間英伸, 小林正治: ステロイド療法中に象牙質知覚過敏様疼痛が出現した20例についての臨床的検討. 第33回日本有病者歯科医療学会 総会・学術大会, 新潟, 2024年3月8日-10日, 同学術集会プログラム, 2024
- 4) 加藤祐介, 加納浩之: 当科における周術期等口腔機能管理の臨床統計的検討. 第21回日本口腔ケア学会・学術大会, 東京, 2024年4月27-28日, 日本口腔ケア学会雑誌 18(3): 143 頁, 2024.
- 5) 市川佳弥, 丹原 惇, 寺田愛希, 井村真美, 宮田昌幸, 若槻華子, 大湊 麗, 児玉泰光, 小林亮太, 新美奏恵, 齋藤大輔, 小林正治, 齋藤 功: 片側性唇顎口蓋裂患者における上顎歯列弓形態への PNAM 治療の影響 5歳児を対象として. 第48回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 名古屋市, 2024年5月30-31日, 日本口蓋裂学会雑誌 49 (2) 138, 2024.
- 6) 竹内涼子, 須田大亮, 齋藤直朗, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 長谷部大地, 竹山雅規, 小林正治: 骨性癒着した上顎犬歯を有する顎変形症患者に歯槽骨延長術を組み合わせた外科的矯正治療を施行した1例. 第34回日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2024年6月28日. 日本顎変形症学会雑誌 第34巻第2号 抄録号:116 頁, 2024.
- 7) ミョーマウンマウン, 齋藤大輔, 竹内涼子, 羽賀健太, 長谷部大地, 船山昭典, 丹原惇, 新美奏恵, 小林正治: Three-dimensional evaluation of cranio-

- maxillofacial morphological asymmetry in patients with jaw deformities. 第 34 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2024 年 6 月 27,28 日, 日変形誌 34(2),123 頁, 2024.
- 8) 大澤知朗、丹原 惇、西山秀昌、高橋功次朗、大森裕子、新 ちひろ、齋藤大輔、富原 圭、小林 正治、齋藤 功. 骨格性下顎前突症患者における下顎骨の偏位様相と上顎咬合平面傾斜との関係について. 顎変形症学会 2024
 - 9) 須田 大亮、船山 昭典、佐久間 英伸、齋藤 大輔、羽賀 健太、林 孝文、丸山 智、田沼 順一、小林 正治: 広範な骨膜反応を呈した非細菌性下顎骨骨髓炎の 1 例. 第 62 回日本口腔科学会北日本地方部会・第 50 回日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 旭川,2024 年 7 月 6 日-7 日,プログラム抄録集 63 頁,2024.
 - 10) 早川里佳、長谷部大地、笠原公輝、羽賀健太、浅見栄里、竹内涼子、齋藤直朗、齋藤大輔、佐久間 英伸、小林正治: 当科における顎変形症患者に対する外科的矯正治療後のアンケート調査. 第 78 回日本口腔科学会学術集会, 東京, 2024 年 7 月 19-21 日, 日口科誌 73(1), 31 頁, 2024
 - 11) 船山昭典、竹内涼子、齋藤大輔、須田大亮、羽賀健太、西山秀昌、林孝文、山崎学、田沼順一、小林正治: 下顎歯肉癌を発症した Bloom 症候群の 1 例. 第 78 回 NPO 法人日本口腔科学会, 東京, 2024 年 7 月 19-21 日.
 - 12) ミョーマウンマウン、竹内涼子、羽賀健太、須田大亮、齋藤直朗、齋藤大輔、佐久間英伸、長谷部大地、小林正治: 咬合接触検査とウェアラブルデバイスによる咀嚼検査を活用した顎変形症患者における咀嚼行動の評価. 第 78 回日本口腔科学会学術集会, 東京, 2024 年 7 月 19-21 日, 日口科誌 73(1), 216 頁, 2024.
 - 13) 羽賀健太、相澤有香、山崎学、丸山智、阿部達也、船山昭典、小林正治、田沼順一: 3 次元培養技術を用いた口腔がん微小環境モデルの構築. 第 35 回日本臨床口腔病理学会総会・学術集会, 新潟, 2027 年 7 月 31 日, 抄録集 P-12, 69 項, 2024.
 - 14) 竹内涼子、竹山雅規、齋藤大輔、佐久間英伸、長谷部大地、小林正治: 骨性癒着した上顎犬歯を有する顎変形症患者に歯槽骨延長術と外科的矯正治療を施行した 1 例. 関東形成外科学会 第 116 回新潟地方会, 新潟, 2024 年 8 月 2 日. プログラム:2 頁, 2024.
 - 15) 小田島あゆ子、柴田由美、木村有子、船山昭典、新美奏恵、三上俊彦、原田由香、高橋浩二、小林正治、隅田好美: 高齢口腔がん患者における QOL およびフレイルの関連. 日本歯科衛生学会第 19 回学術大会, 新潟市, 2024 年 9 月 21-23 日、日本歯科衛生学会雑誌 19 (1) 66, 2024.
 - 16) 竹内涼子、羽賀健太、須田大亮、齋藤大輔、佐久間英伸、船山昭典、新美奏恵、小林正治: 根管充填剤の逸出が起因した上顎洞アスペルギルス症の 1 例. 第 37 回日本口腔診断学会 第 34 回日本口腔内科学会 合同学術集会, 長野, 2024 年 9 月 29 日. プログラム:26 頁, 2024.
 - 17) 青柳友美、井淵慎弥、加藤祐介、松原ちえみ、加納浩之: 当院における骨吸収抑制薬剤開始前の口腔内精査依頼について. 第 26 回日本骨粗鬆症学会, 石川, 2024 年 10 月 11-13 日, 日本骨粗鬆症学会雑誌 10: 690 頁, 2024.
 - 18) 笠原公輝、須田大亮、竹内涼子、齋藤直朗、船山昭典、小林正治: 副甲状腺ホルモン製剤間歇的投与はラット下顎骨延長モデルにおける下顎頭吸収を抑制する. 令和 6 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2024 年 11 月 2 日, 新潟歯学会雑誌 54(2): 40 頁, 2024.
 - 19) Myo Maung Maung, Ryoko Takeuchi, Kenta Haga, Daisuke Saito, Hidenobu Sakuma, Daichi Hasebe1, Jun Nihara and Tadaharu Kobayashi. Effects of surgical orthodontic treatment on masticatory behavior of patients with jaw deformities measured by wearable device. 令和 6 年度新潟歯学会第 2 回例会 令和 6 年 11 月 2 日
 - 20) 福井智子、加藤祐介、小林正治、丸山 智、加納浩之. 歯科インプラント治療のための上顎洞底挙上術術後に発症した surgical ciliated cyst の 1 例. 令和 6 年度新潟歯学会第 2 回例会 令和 6 年 11 月 2 日
 - 21) 加納浩之、加藤祐介、小林正治、丸山 智. メトトレキサート関連リンパ増殖性疾患により顎骨壊死をきたした関節リウマチ患者の 1 例. 令和 6 年度新潟歯学会第 2 回例会 令和 6 年 11 月 2 日
 - 22) 長谷部大地、須田大亮、齋藤大輔、岩崎智憲、小林正治: 上気道流体シミュレーションを用いた骨格性 III 級患者における顎矯正手術に伴う鼻咽腔気道の変化. 第 23 回日本睡眠歯科学会総会・学術集会, 徳島, 2024 年 11 月 3,4 日, 睡眠口腔医学 11, 90 頁, 2024.
 - 23) 長谷部大地、齋藤直朗、齋藤大輔、佐久間英伸、船山昭典、小林正治: 外科的矯正治療後の満足度アンケート調査. 関東形成外科学会第 117 回新潟地方会, 新潟, 2024 年 11 月 8 日.
 - 24) 浅見栄里、清水まや、倉部華奈、小島拓: 側頭隙まで波及し再燃を繰り返した下顎骨骨髓炎の 1 例. 第 41 回 2024 年度アルペン口腔科学フォーラム, 富山, 2024 年 11 月 16 日, 同学術集会プログラム・抄録集: 1 頁, 2024.

- 25) 齋藤直朗, 長谷部大地, 大澤知朗, 佐久間英伸, 須田大亮, 齋藤大輔, 丹原惇, 小林正治: 短根を伴う歯槽性上顎前突症に対して上顎中切歯部歯槽骨切り術を施行した1例: 第69回日本口腔外科学会学術大会, 横浜, 2024年11月22-24日, 日本口腔外科学会誌70(プログラム集): 95頁, 2024.
- 26) 竹内涼子, 羽賀健太, 須田大亮, 齋藤直朗, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 長谷部大地, 船山昭典, 新美奏恵, 小林正治: 口蓋裂患者の顎矯正手術における手術計画立案と術後言語機能に及ぼす影響について. 第69回日本口腔外科学会総会・学術大会, 神奈川, 2024年11月22日. プログラム:95頁, 2024.
- 27) 笠原公輝, 須田大亮, 竹内涼子, 齋藤直朗, 船山昭典, 小林正治: ラット下顎骨延長モデルにおける副甲状腺ホルモン製剤間歇投与の下顎頭吸収抑制効果. 第69回日本口腔外科学会学術大会, 横浜, 2024年11月22-24日, 日本口腔外科学会誌70(プログラム集): 102頁, 2024.
- 28) Myo Maung Maung, Ryoko Takeuchi, Kenta Haga, Daisuke Suda, Naoaki Saito, Daisuke Saito, Hidenobu Sakuma, Daichi Hasebe, Tadaharu Kobayashi. Effect of Orthognathic Surgery on Masticatory Behavior using wearable device. IADR-SEA (Malaysia), Nov 28-30th 2024.

【研究会発表】

- 1) Ryoko TAKEUCHI: The overview of preoperative planning and postoperative evaluation for orthognathic surgery in our department Influence of orthognathic surgery on velopharyngeal function in patients with cleft palate. The 14th Joint Scientific Meeting of NAOMS and JSOMS and PG Convention, Nepal, 2024.2.3. Program p.1, 2024.
- 2) 小林正治: 顎変形症患者のクオリティ・オブ・ライフの向上を目指して. 第92回新潟口腔外科麻酔科集談会, 2024年5月23日.
- 3) 小林雅: 乳女兒に生じた先天性エプーリスの1例. 第93回新潟口腔外科・麻酔科集談会, 新潟, 2024年11月14日.
- 4) 羽賀健太: がん微小環境で生じる腫瘍と間質との相互作用および浸潤促進機構の解明. 歯学研究を明るく楽しむ交流会・歯科領域でのAI活用の検討会 静岡, 2024年12月1日, プログラム4項, 2024.

【特許出願・特許取得】

- 1) 井川和代, 泉 健次, 羽賀健太, 内藤絵里子. がん治療法の有効性を評価するための方法、キット、構造物及び使用. 特開 2024-016451

【受賞】

- 1) 早川里佳. 顎変形症患者に対する外科的矯正治療後のアンケート調査. 日本口腔科学会 2023 年新人賞, 2024 年 7 月 20 日
- 2) 羽賀健太: 3 次元培養技術を用いた口腔がん微小環境モデルの構築. 第 35 回日本臨床口腔病理学会総会・学術集会 優秀ポスター賞, 2024 年 7 月 31 日
- 3) Myo Maung Maung. Effect of Orthognathic Surgery on Masticatory Behavior using wearable device. IADR-SEA Research Category award for Oral Medicine and Maxillofacial Surgery Research, Nov 28-30th 2024.

【その他】

- 1) 齋藤大輔: 患者満足度の高い顎矯正手術を目指して. 第 34 回日本顎変形症学会 (ランチョンセミナー), 東京, 2024 年 6 月 27 日
- 2) 加藤祐介: 薬剤関連顎骨壊死を含む顎骨周囲の感染症に対する対応. 十日町中魚沼郡歯科医師会 講演会, 新潟, 2024 年 12 月 7 日

顎顔面放射線学分野

【著書】

- 1) 林 孝文: 超音波検査(超音波診断), 新編 顎関節症 第3版 (一般社団法人日本顎関節学会 [編]), 92-93 頁, 永末書店, 東京, 2024.
- 2) 林 孝文: 基礎編 頭頸部エコーの基礎知識 1 頭頸部の部位ごとの解剖とエコー像②口腔 (pp11-14), 2 頭頸部の部位ごとの主要な疾患②口腔 (pp25-26), 実践編 A 口腔の診療 4 歯肉がん (pp55-60) 5 歯原性良性腫瘍 (pp61-63). 頭頸部診療とことんエコー活用術 (古川まどか 編), 診断と治療社, 東京, 2025 年.
- 3) 林 孝文: 画像解剖学. 口腔解剖学第3版 (前田健康, 天野 修, 阿部伸一, 馬場麻人 編), 240-255, 医歯薬出版, 東京, 2025.

【論文】

- 1) Nikkuni Y, Nishiyama H, Hayashi T: Prediction of histological grade of oral squamous cell carcinoma using machine learning models applied to 18F-FDG-PET radiomics. Biomedicines 12(7):1411, 2024.
- 2) kamoto H, Sakuramachi M, Yatsuoka W, Ueno T, Katsura K, Murakami N, Nakamura S, Iijima K, Chiba T, Nakayama H: A novel method for determining dose distribution on panoramic reconstruction computed